

年 組 名前:

問1

「ご当地ベア」とは、なにをモチーフとしたクマのぬいぐるみですか。

.....

問2

このフェアでは、47種類の「ご当地ベア」を販売しています。山梨に関連する「ご当地ベア」を4種類、答えてください。

.....

問3

(2022年11月5日付 山梨日日新聞7面)

山梨県内では、いつどこで開催しますか。3カ所、答えてください。

.....



「ご当地ベア」47種勢ぞろい 藤二誠が全国フェア

土産品製造販売の藤二誠（甲府市国玉町、小口浩子社長）は、日本全国の特産や観光名所をモチーフに製作したクマのぬいぐるみ「ご当地ベア」の10周年限定デザインも限定販売する

11月中旬からは、「ご当地ベア復刻総選挙」で得票トップの「ひまわり」と「京都新撰撰組」の10周年限定デザインも販売する。

一方、同社は1日からSNS（交流サイト）でキャンペーンも展開。「ご当地ベア」公式ツイッターまたは、インスタグラムをフォローし、ご当地ベアの写真と「#ご当地

ア」の販売フェアを展開している。全国で順次開催する。販売開始10周年を記念した企画の一環で、各地のベア47種類を一堂に集めて販売。山梨のベアは「武田信玄」や「シヤインマスカット」、山梨・静岡の「紅富士」や「傘雲富士」を販売する。

も販売。人気の「中日ドラゴンズドラ」も登場する。全国39店舗で開催。県内は富士河口湖町大石の「河口湖自然生活館」で17、27日、中央自動車道下り線双葉サービスエリア（SA）で8日から（終了日未定）、中央道上り線談合坂SAで16日、12月4日に開催する。

ベアとの思い出を語ろう」を付けて投稿すると、当選した30人に10周年を記念したオリジナル買い物バッグを贈る。広報担当者は「普段は各地

でしか出会えないベアが一堂に集まるこの機会に、お気に入りのベアを見つけて楽しんでほしい」と話している。 <土屋真佑子>